



## 経営指針を創る会特集



**経営指針を創る会特集**  
「創る会」で経営姿勢が確立できた  
経営指針とは？  
経営指針の体系  
第43期 経営指針を創る会  
「成文化コース」のご案内



## 第43期 経営指針を創る会「成文化コース」のご案内

### 【お申込み要綱】

受講要件 ● 同友会会員で、以下の(1)～(8)の要件を全て満たしているか、経営労働委員長が、特別に受講を認める方。

- 以下の①②のいずれかの条件を満たしていること。
  - 社員を雇用している経営者であること。もしくは将来的に社員雇用の意思があること。
  - 現経営者（会員）より後継指名を受けていること。
- 所属支部の支部長・ブロック長からの推薦があること。
- 下記日程のオリエンテーション及び全7講に遅刻・早退・欠席なく参加すること。
 

※万が一、やむを得ない事情で欠席される場合は、必ず補講を受けていただきます。補講は別途有料です。
- メールの送受信、及び e-doyu での回答ができること。
- 各講の1週間前の締切日に、各課題をメールにて提出できること。
- 過去の自社の決算書等を持参し、必要な部分を公開できること。
- 同友会の支部及び委員会活動、全国行事に積極的に参加できること。
- 事前学習テキスト（書籍）を必ず読んでから参加すること。 ※テキストは事務局にて販売いたします。



| 講座名           | 日程                                   | 会場             | 内容                            |
|---------------|--------------------------------------|----------------|-------------------------------|
| オリエンテーション     | 2020年 7月20日(月) 18:00-21:00           | 草津市民交流センター(予定) | 経営指針成文化運動・実践の理解               |
| 第1講<br>(1泊研修) | 2020年<br>8月21日(金) 10:00~22日(土) 12:00 | 琵琶湖マリオットホテル    | 労使見解の精神に基づく経営理念の確立            |
| 第2講           | 2020年 9月19日(土) 10:00-18:00           |                | 経営者の価値観、人生観、経営の目的、顧客、社員、社会の見方 |
| 第3講           | 2020年 10月17日(土) 10:00-18:00          |                | 10年後のわが社のありたい姿を描く             |
| 第4講           | 2020年 11月21日(土) 10:00-18:00          |                | 自社の歴史に学び、外部・内部の環境の分析から事業領域の設定 |
| 第5講           | 2020年 12月19日(土) 10:00-18:00          |                | 自社の財務分析と中期経営計画の策定             |
| 第6講           | 2021年 1月23日(土) 10:00-18:00           |                | 経営指針書にまとめる                    |
| 第7講           | 2021年 2月20日(土) 10:00-19:00           | クサツエストピアホテル    | 経営指針書を発表する                    |

受講内容は変更になる場合があります。

会費 ● 17万8千円(全7講の資料代・食費・宿泊費・「指針経営基礎講座全6講」受講費込み) ※テキスト書籍代は含みません。  
※参加費お支払い後のお申し込み受付とさせていただきます。

申込み締め切り ● 2020年6月30日(火) ※申し込み締め切り後のキャンセルは参加費全額のキャンセル料が発生いたします。

定員 ● 12名 ※受講者が定員に達し次第受付を終了いたします。

### 第43期 経営指針を創る会【成文化コース】参加申込書 事務局FAX 077-561-5334

- ① 受講に当たって全講を無遅刻・無欠席で参加します。
  - ② メール及びe.doyuでの出席登録を必ず行います。
  - ③ 提出締め切り日時までに各講の課題をメールにて送信・提出いたします。
  - ④ 受講中及び修了後は、支部及び委員会、全国行事に積極的に参加します。
- ※①～④の項目のに✓を入れてください。

上記4項目を確認し、第43期経営指針を創る会(成文化コース)を受講いたします。

|                  |                                 |                |
|------------------|---------------------------------|----------------|
| 会社名              | 社内での役職                          | 受講希望者氏名        |
| 業種(業務内容)         | 連絡用 電話番号                        | 連絡用 E-Mailアドレス |
| 社員数(パート・アルバイト含む) | (支部長名) 上記の同友会会員を創る会受講に推薦いたします。印 |                |
| ( ) 支部・ブロック所属    |                                 |                |

※上記の情報は受講者名簿に記載いたします。

**DoYu Now**

▼ 自社の経営課題をすんなり言える経営者さんってどれくらいおられるでしょう？「なんとなく上手くない」「なぜか社員が定着しない」など本質の見えにくいものや、「会長(先代社長)が口を出しすぎ」「オッポネ社員がいうことを聞いてくれない」など、グチの様なもので…。ところが、実は中小企業の抱えている経営課題とは(経営者ご自身)にあるというケースが圧倒的に多いのです。

▼ 一番の問題は、経営者ご自身がそのことにお気付きでないこと。滋賀県中小企業家同友会では、まず、各支部の例会で、経営者の経営課題をあぶり出し、そこで見つかった経営課題を各委員会活動や「経営指針を創る会」を通して解決していくという道筋があります。「経営指針を創る会」を受講して課題解決の道筋が見えた」という諸先輩方のお話も聞けます。

▼ 「経営指針を創る会」は、同友会の三つの目的である、よい会社、よい経営者、よい経営環境を創る二丁目一番地です。

▼ 第43期経営指針を創る会は、今年7月からスタートします。是非、創る会の受講・OB・OG(ご)参加ください。

(K・K記)

# 「創る会」で経営姿勢が確立できた

売上利益がアップし、従業員がドキドキする♡  
店に変化



一哲合同会社  
代表社員 上野 哲也 氏  
(第41期創る会修了)

皆さんこんにちは！一哲合同会社の上野です。

経営指針を創る会を受講して、約1年が経ちました。結果を申し上げると、売上利益にプラスに働きました。従業員が店に興味を持ってくれるようになり、人材不足でお客様に「迷惑をお掛けする事が無くなりました。尚且つ2020年3月に大学卒業に伴い店を卒業する従業員が2名もいますが、2020年度は新規従業員を募集しなくても営業出来そうな状況です。

従業員の声としては「出勤する度に店が変わってきたドキドキする♡」「店に出勤するのが楽しい」「勤務シフトを増やして欲しい！」「店長の店でアルバ

イトから正社員として働きたい!!」また、ある従業員はいつの間にか「一哲合同会社」でWeb検索を行い、滋賀県中小企業家同友会のホームページからわが社の経営理念を見つけて、「経営理念のイメージ図素敵ですね。経営理念しつかり覚えませう」と声を掛けられた時は、口から心臓が飛び出る程驚きました。

この様に良い報告を出来るようになった「創る会」の過程は、非常に辛く苦しいものでした。頭から煙が出て思考が停止する感じです。なので、軽々しく「創る会を受講したほうが良いよ」とは言えませんが、努力・根性・汗・涙を胸に秘めている方は是非挑戦して下さい。

共に働く社員と真摯に向き合う姿勢が出来ました。



株式会社ピアライフ  
課長 西村 隆 氏  
(第38期創る会修了)

事業承継について悩んでいたとき、弊社は親族承継ではないので、事業そのものの承継だけでなく、理念や文化も継承するには「創る会」への参加は必須だと感じ参加を決めました。参加してわかったのは、今まで、現社長が考えた理念を会議や朝礼で唱和するだけで、理解した気になっていたことでした。理念の言葉の意味はわかっていたも、それは日本語としての意味を理解しているだけで、幹部として社員にその真意を伝えることが出来ていませんでした。辞めていく社員がいてもそれは条件や社風が合わないだけと、どこ都合の良い風に捉えていたように思います。

しかし、受講し指針を成文化することで、言葉一つひとつを大切に、共に働く社員に理念と何のために働くのかを伝える事に真摯に向き合うことが出来ました。

また、受講時も現理念を踏襲したに過ぎない程度での卒業になってしまいましたが、その後OB団として講師陣側に回るこ

とで、参加時には課題でいっぱいになっていて自分から脱却でき、自身の指針書作成を成熟させることが出来ました。

学びに終わりはありません。卒業後も「創る会」に参加することで受講生・OB・OG団から多くの学びと刺激を受けられ、より「経営指針書」を作成し続ける事ができます。新たな気づきと自身の核を知ることが出来るので、是非ご参加ください。

社長の姿勢が会社のすべてを決める。



株式会社プリムスクリエイティブ  
代表取締役 柴田 誠一 氏  
(第39期創る会修了)

会社の業績が振るわず、社員がみんなバラバラでまともまらないのは、会社にちゃんとしたゴールがないからだと考え、そのゴールを定めるべく「経営指針を創る会」に参加しました。

者が社員のせいにしていてうちは被害者意識である以上、何をやってもダメだということですが、会社がうまくいかないのは、すべて社長の責任です。

当事者意識をもたなくては経営者とは言えません。その経営者たる姿勢が、会社の業績に最も影響していることがわかったのです。

「何のために働いていますか？」と質問を受けた時、正直、私はその問いには答えることができませんでした。言い換えるとそれは、何のために生きていますか？と聞かれているように思えてなりません。

そのことからスタートして、3年が経ちました。今は、この経営指針書が、会社みんなが幸せになるための手順になっています。

もし、あなたが社員の幸せを願ひ、会社の業績を良くしたいのなら、まず経営者自身が正しい姿勢へと生まれ変わることが出来る「経営指針を創る会」で学び日々の経営で実践するしかありません。

## 経営指針とは？～よい会社への登竜門～

経営者が「何のために経営するのか？」と言う、自社の存在理由を「経営理念」として表明することは、会社を単なる人の集まりから、生命力を持った有機体にするための「魂」のようなものと言えるかも知れません。

しかし、「理念」が出来たから、会社が着実に変わって行くほど単純なものでもありません。「理念」の実現に向けて自社の理想的な未来像(ありたい姿

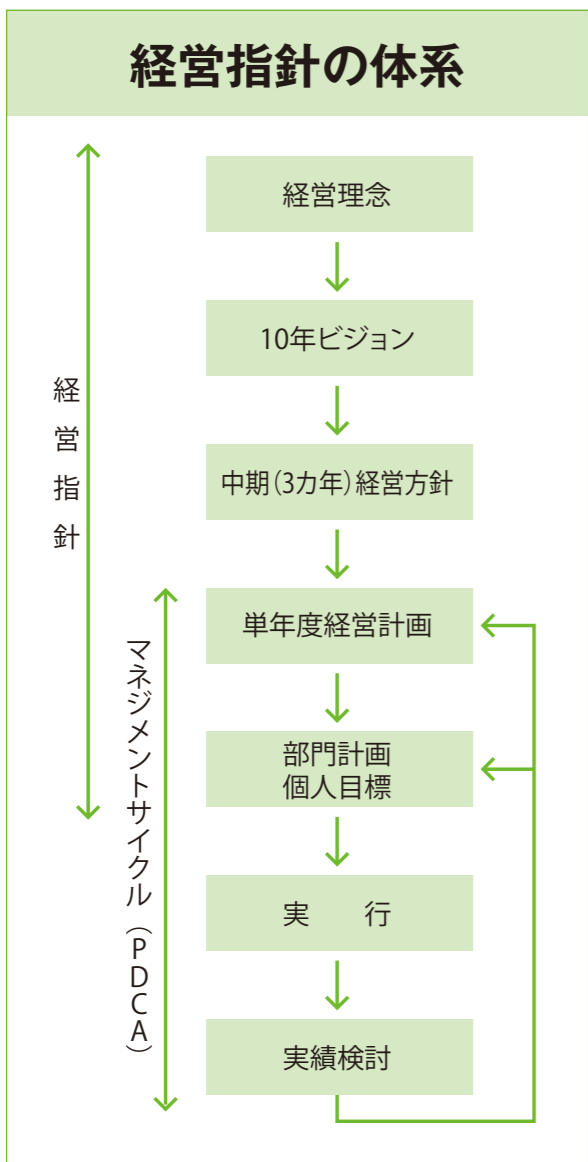
ビジョン)を書きあらわし、自社の内部環境・外部環境などを分析し、適切な方針を立てる必要があります。

また、方針を立てただけで、実際には日常業務に忙殺されて、同じところをぐるぐる回っているだけでは会社は一向に良くなりません。

このため滋賀同友会では「経営理念」+「10年ビジョン」+「中期(3カ年)経営方針」+「単年

度経営計画」の4つを一体として作成し、社員と共に実践することを推奨しています。この4つをまとめたものを「経営指針書」と呼んでいます。

経営者をはじめ、全社員が常に「経営指針書」を意識して、それに基づき、業務、行動、思考を日々積み重ねることが労使が共に学び育ちあう「よい会社」になつていくための登竜門だと考えています。



## 世界でも注目される「理念」の大切さ！

### 基本理念をしっかりさせ、進歩を促す仕組みをつくるビジョナリーカンパニー

2001年に発行され、世界の経営者に大きな影響を与え続けている本があります。「ビジョナリーカンパニー」。業界で50年以上にわたって卓越し続け、尊敬し続けられている700社に上る企業を研究して来た二人のアメリカの研究者が書いた本です。そのポイントは書名のとおり「ビジョン(理念)に裏打ちされた会社」。2人の著者は、「自らの会社を成功し、尊敬し続けられる会社にするためには、何から始めればいいのか」という質問に対して、「基本理念をしっかりさせ、進歩を促す仕組みをつくることである」と答えています。これらの会社は、市場環境

の変化などによって、戦略を変えることは躊躇しませんが、基本理念を変えることはありません。ビジョナリー・カンパニーといわれる企業が、卓越した地位を獲得できているのは、将来を見通す力が優れているからでも、成功のための特別な秘密があるからでもなく、単に自分自身の役割が明確で、そのレベルアップをめざし続けているという単純な事実のためなのです。世界でも注目される「経営理念」の力。ぜひあなたの会社でも取り組まれることをお勧めします。

